



INDEX

- ◆ 社研お便り
- ◆ 研究会・セミナー
- ◆ 全所的プロジェクト
- ◆ 刊行物案内
- ◆ 所員の発言
- ◆ CSRDA/SSJDA
- ◆ 社研インタビュー
- ◆ 人事情報
- ◆ リンク集

◆ 社研お便り

「わからない」の重要性

近年、社会科学研究者と実務家(政策担当者、企業等)との連携がますます強化されている。筆者の専門である経済学に関しては、“データ分析”への期待が特に強い。この背景には、優れた研究者による“out-reach”活動の成果が出ていると考えられる。「演繹・抽象的な理論分析が中心」という旧来のイメージが刷新され、「実証分析が中心となる」現代経済学の姿が徐々に広まりつつあるのである。

しかしながら実務家やマスメディアとの認識のずれ、を痛感する場面も多い。とくにデータ分析とは「データに基づき白黒をはっきりつける」ものである、という誤ったイメージが強固に流布している。

計量経済学の授業では、データから主張できないこと、すなわち何が「わからないのか」について徹底的に論じ、わからないことがいかに多いのかが叩きこまれる。通常推計結果は、図1のように、誤差付きで報告する。“C”については、誤差が極めて大きく、ほとんど何も「わからない」。また近年の統計的因果推論の発達によって、相関と因果は区別できるのか?という問題は改めて問い直されている。データに含まれる情報は社会の極々一部である以上、「わからない」という結論を導くことが妥当なケースは多々存在する。

しかしながらデータ分析が持つこの自然な特徴を、学生に理解させることにはしばしば困難を伴う。プロの研究者であったとしても、この部分を誤解しているケースも散見される。なぜだろうか?

比較現代経済部門 准教授 川田 恵介

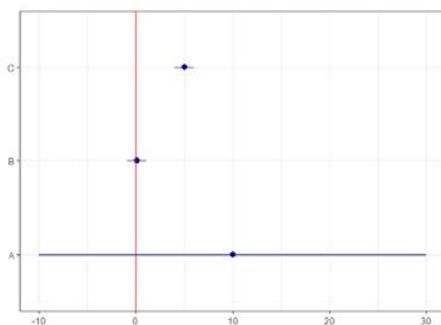


図1: 点(推定値)と線(“誤差”)

一つの仮説は、小学校から大学入試までに課される“試験”では、「わからない」という回答が正答になるケースがほとんど存在しないことが考えられる。とりあえず何らかの「答え」を書くべし、という誤った学習の結果、「わからない」という回答を忌避してしまうのである。

「わからない」を忌避する姿勢は、研究に対しても暗い影を差している。Cherry-pickingやp-hackなど、データの分割や推定モデルの変更を繰り返し、「わからない」という結論を避ける行為が、分析の信頼性を損なっていることは、自然・社会科学を問わず広く指摘されている。

データ分析への社会からの期待に応えるためには、データ分析により「わかること」を強調するだけでなく、「わからないうこと」の重要性も積極的に発信することが重要となっているのである。

◆ お知らせ

01> UTOKYO VOICES (広報戦略本部)

2019-04-18 東大本部HP企画「UTOKYO VOICES」に宇野 重規が登場しました。

UTOKYO VOICES とは>東京大学を構成するのは志をもった卓越した人々です。このシリーズでは、論文や著書だけでは分からない東京大学の人を紹介します。



現地に出かけ、そこで実感する「違い」がすべての研究の出発点。

続きはこちらから>

<https://www.utokyo.ac.jp/focus/ja/features/voices058.html>

◆ 研究会・セミナー

01> 社研シンポジウム

2019-02-01 第30回社研シンポジウム「防災・減災と男女共同参画—2017年度自治体調査の結果から—」を開催いたしました。

【プログラム】

「調査の趣旨」

堂本 暁子(男女共同参画と災害・復興ネットワーク代表)

「結果の概要」

大沢 真理(社会科学研究所)

「10年間の変化の評価の試み」

池田 恵子(静岡大学教育学部)

「地域防災実践から見た現状と課題」

浅野 幸子(減災と男女共同参画研修推進センター共同代表)

「総括コメント」: 竹内 直人(社会科学研究所)

詳しくはこちらをご覧ください。

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/symposium/sympo30.html>



02> 社研セミナー

2019-02-12 「多角的貿易体制再考」(中川淳司教授最終報告)

中川 淳司(社会科学研究所)

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20190212.html>

2019-03-06 「グローバル・インクルージョンへの日本の課題」(大沢真理教授最終報告)

大沢 真理(社会科学研究所)

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2018/20190306.html>

2019-04-09 "Managing Authority in Organizations with Choice and Execution"

石原 章史 (社会科学研究所)

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/2019/20190409.html>

03>



現代中国研究拠点 <https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/kyoten/>

2019-03-28 現代中国研究拠点「歴史と空間」班主催 ワークショップ

「中国における法と秩序：歴史研究と現代分析との対話」

伊藤 亜聖 (社会科学研究所)「現代中国研究拠点について」

城山 智子 (東京大学)「ワークショップの趣旨」

梶谷 懐 (神戸大学)「寺田浩明『中国法制史』(東京大学出版会 2018年)を読む」

寺田 浩明 (京都大学)「レスポンス・感想への感想」

全体討論

04> 産業組織研究会 <https://www.iss.u-tokyo.ac.jp/~matsumur/IOWJA.html>

2019-01-30 "Comparing Specific and Ad Valorem Taxes under Price-Inelastic Demand with Quality Differentiation "

王 光正 (Kuang-Cheng Andy Wang: Chang Gung University)

2019-04-03 "The Political Economy of Optional Public Service"

Debashis Pal (University of Cincinnati)

05> 現代日本研究会 (The ISS Contemporary Japan Group) <https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/>

2019-02-07 "Gender and Politics in Northeast Asia—Female Legislators in Korea and Taiwan—"

Jaemin Shim (German Institute of Global and Area Studies (GIGA), Hamburg)

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/cjg/lecture/2019/01/gender-and-politics-in-northeast-asia-female-legislators-in-korea-and-taiwan.html>



危機対応学 HP

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/>

公式Twitter

<https://twitter.com/crisisthinking>

01> 活動報告

2019-01-15 2018年度第4回危機対応学ワークショップ(所内限定)を開催いたしました。

2019-01-27 危機対応学トークイベント開催@釜石
 テーマ:「釜石港の発展と地域経済」
 内容:釜石港の変貌(「工業港から流通港へ」「広域経済圏の玄関口へ」「T字路から十字路へ」)を支えた危機対応の実態を探る

ゲスト:橋川 武郎(東京理科大学)

佐々 隆裕(釜石商工会議所)

報告は、こちらをご覧ください。

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/research/190119-1.html>

危機対応学センター事業(東京大学社会科学研究所×釜石市)

危機対応学トークイベント

テーマ「釜石港の発展と地域経済」

釜石港は「特定少数企業の特産品目を大量に扱う港」から「あらゆる企業のあらゆる品目を扱う港」へ変わりつつあります。コンテナ港への釜石港の大変貌は、震災時の津波に抗って、ジブクレーンとストラドルキャリアが公共埠頭に残ったことから始まりました。湾口防波堤が身を挺して守った港を、釜石の人々は復興の「武器」に変えてきたのです。「工業港から流通港へ」「広域経済圏の玄関口へ」「T字路から十字路へ」。その変貌を支えた危機対応の実態を探ります。

日時:平成31年1月27日(日) 15:00~16:30
 場所:釜石情報交流センターラウンジ

↓モデレーター↓
 東京大学社会科学研究所 教授 玄田 有史 氏
 東京大学社会科学研究所 教授 中村 尚史 氏

↓ゲスト↓
 東京理科大学大学院 教授 橋川 武郎 氏
 釜石商工会議所 専務理事 佐々 隆裕 氏

お問い合わせ
 釜石市役所総務企画部総合政策課
 TEL 0193-27-8413 内線133
 E-mail: sougou@city.kamaishi.iwate.jp
<http://www.city.kamaishi.iwate.jp>

大場無料



写真:危機対応学HPより

02> エッセイ掲載

2019-03 大崎 裕子(社会科学研究所)

『危機対応学—明日の災害に備えるために』を読んで——信頼(周辺)研究からのコメント

<https://web.iss.u-tokyo.ac.jp/crisis/essay/post-14.html>

03> 研究成果 ディスカッションペーパー

2019-01 No.7 橋川 武郎 東日本大震災後の釜石港の再生

04> メディア掲載など

2019-01-30 『復興釜石新聞』に「釜石港の発展と地域経済」テーマに 東大社研 危機対応学トークイベント」が掲載されました。

◆ 刊行物案内

社会科学研究 (Journal of Social Science)

2019-03-29 『社会科学研究』第70巻

第1号 (特集 公的統計を利用した就業と生活行動の二次分析)、

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/jss/70/01/index.html>

第2号 (特集 中国国内の経済格差を生む諸要因) が刊行されました。

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/jss/70/02/index.html>

★第64巻からはオンラインでの刊行に移りました。

『社会科学研究』最新発刊情報の配信

最新号の発刊のお知らせをメールにて配信しております。ご希望の方はこちらから
ご登録ください。 <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/jss/mail.html>

社会科学研究所研究シリーズ

No.66 大沢 真理 (編) 『防災・減災と男女共同参画: 2019年2月1日 第30回社研シンポの
要旨; 「2017年度女性・地域住民から見た防災・災害 リスク削減策に関する調査」報告』
が刊行されました。2019年3月 下記よりダウンロードできます。

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/issrs/issrs/pdf/issrs_66_01.pdf



No.67 Junji Nakagawa (ed.), Public Private Partnership (PPP) for the Diffusion of Voluntary
Sustainability Standards (VSS): Introduction to the Project and Progress Report of FY 2018 が
刊行されました。2019年3月 下記よりダウンロードできます。

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/issrs/issrs/pdf/issrs_67.pdf



ディスカッションペーパーシリーズ 外国語シリーズ

2019-03-26 F-191 Mayo MORIMOTO, "Effects of Electrification on the Production and Distribution in the
Coal Industry: Evidence from 1900s Japan" が刊行されました。下記よりダウンロードできます。

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/dp/dpf/pdf/f-191.pdf>

ディスカッションペーパーシリーズ 日本語シリーズ

2019-04-12 J-225 五百旗頭 薫 「人口・財政収縮時代の集落自治 —福井県若狭町鳥羽地区の事例—」
が刊行されました。下記よりダウンロードできます。

<https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/dp/dpj/pdf/j-225.pdf>



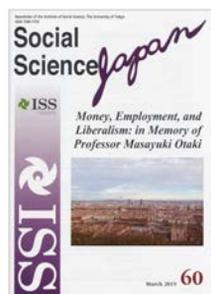
Social Science Japan Journal (SSJJ)

Social Science Japan Journal (SSJJ) の第22巻1号が刊行されました。

詳細、目次はSSJJのページをご覧ください。

下記よりダウンロードできます。

<https://academic.oup.com/ssj/issue/22/1>



Social Science Japan Newsletter

SSJ第60号(Money, Employment, and Liberalism: in Memory of

Professor Masayuki Otaki) が刊行されました。

詳細、目次は、SSJ Newsletter のページをご覧ください。

下記よりダウンロードできます。

<https://newslet.iss.u-tokyo.ac.jp/ssj60/index.html>

所員の著書> <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/books/2018/index.html>



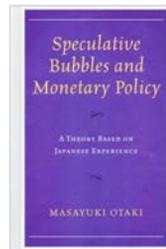
廣井亮一・中川利彦・児島達美・

水町勇一郎(著)

『心理職・援助職のための

法と臨床』

(有斐閣 2019年2月)



Masayuki Otaki

Speculative Bubbles and Monetary

Policy: A Theory Based on Japanese

Experience

(Lexington Books, 2019)



石田浩(監修・編)、佐藤博樹(編)

[格差の連鎖と若者2]

『出会いと結婚』

(勁草書房 2019年4月)

◆ 所員の発言

01> 新聞・雑誌

2019-02-06 日本経済新聞電子版、「アクティビストは「ハゲタカ」なのか——ガバナンスの掟」、田中 亘の研究成果やコメントが掲載されました。

2019-02-07 日経産業新聞、「物言う株主は「ハゲタカ」か——介入受け入れ、企業価値が改善(ガバナンスの掟)、田中 亘の研究成果やコメントが掲載されました。

- 2019-02-18 『読売新聞』、**玄田 有史**「1000字でわかる孤立無業」〈1〉—社会生活調査 150万人フリーターに匹敵—が掲載されました。
- 2019-02-24 日本経済新聞電子版、「その敵対的TOB、大義あるか—伊藤忠VSデサント、深まる亀裂」、**田中 亘**のコメントが掲載されました。
- 2019-02-24 日経ヴェリタス11ページ、「その敵対的TOB、大義あるか—日本では王子製紙など失敗例多く」、**田中 亘**のコメントが掲載されました。
- 2019-02-25 『読売新聞』、**玄田 有史**「1000字でわかる孤立無業」〈2〉—統計分析から イメージとは異なる実態—が掲載されました。
- 2019-03-11 『読売新聞』、**玄田 有史**「1000字でわかる孤立無業」〈3〉—7040問題...就職氷河期世代が直面—が掲載されました。
- 2019-03-12 The Japan Times、At the University of Tokyo, there is power in a unionに**佐々木 弾**のインタビュー記事が掲載されました。
- 2019-03-14 『読売新聞』、「中国共産党 対日政策の底流⑥ 国内成長へ 経済は『友好』」に**丸川 知雄**の発言が掲載されました。
- 2019-03-18 『読売新聞』、**玄田 有史**「1000字でわかる孤立無業」〈4〉—解決策の模索 過疎進む地域の担い手に—が掲載されました。
- 2019-03-26 『朝日新聞デジタル』、「ゆがんだ統計 こうして政策の根幹はぐらついていった」に**佐々木 弾**の発言が掲載されました。
- 2019-03-31 3月31日開催の「大学フォーラム」に**佐々木 弾**含め社研の現・前職数名が「呼びかけ人」参画しました。詳細は、以下のHPをご覧ください。
 * 大学フォーラムとは何か。 <http://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/aboutus/>
 * 大学フォーラム設立趣旨 <http://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/aboutus/charter/>
 * 呼びかけ人一覧 <http://univforum.sakura.ne.jp/wordpress/aboutus/proposers/>
- 2019-04-01 『日本経済新聞』、「国際特許出願、中国・深圳が突出 国内5割超占める」に**伊藤 亜聖**の発言が掲載されました。
- 2019-04-22 『週刊エコノミスト』(2019 4/30,5/7合併号)、**玄田 有史**「既存の雇用システムからこぼれ落ちる現象が起きた」が掲載されました。
- 2019-04-23 『日本経済新聞』、「動画アプリ「TikTok」急ブレーキ 米印で問題浮上」に**伊藤 亜聖**の発言が掲載されました。
- 2019-04-23 『日本経済新聞』、「重すぎる日本のIoT」に**伊藤 亜聖**の発言が掲載されました。

◆ 社会調査・データアーカイブ研究センター(CSRDA/SSJDA)



01> お知らせ

- 2019-03-01 社会調査メタデータの国際規格Data Documentation Initiative(DDI)に基づいたメタデータの編集・管理ソフト Easy DDI Organizer (EDO) ver2.1.0を公開しました。詳細は下記をご覧ください。

<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/international/ddi/edo/>

02> 東アジアデータ・アーカイブ国際ワークショップ
が開催されました。

2019-01-25 "Data Repository Assessment and
Certification: Experiences and Lessons Learned"
Jared Lyle (ICPSR, University of Michigan)

2019-01-26 "The Dataverse Project: Open-Source Software
to Share, Cite, and Find Data"

Elizabeth Hess (The Institute for Quantitative
Social Science, Harvard University)

詳細は下記をご覧ください。

[https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/international/
public-lectures/past/](https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/international/public-lectures/past/)



(写真: 東アジアデータ・アーカイブ国際ワークショップHPより)

03> 2019-02-20
2018年度 寄託者・優秀論文表彰式が
開催されました。

■2018年度寄託者表彰受賞者:

農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課

詳細は下記をご覧ください。

[https://csrda.iss.u-
tokyo.ac.jp/ssjda/prize-depo/2018/](https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda/prize-depo/2018/)

■2018年度SSJデータアーカイブ優秀論文受賞者:

○五十嵐 彰(東北大学)

"Territorial Conflicts and Japanese Attitudes Towards East Asian Countries: Natural Experiments with Foreigners' Landings on Disputed Islands" (Political Psychology Vol.39 No.4, 2018)

利用データ:『外交に関する世論調査(フレッシュ Wave1-24), 2011.10-2013.9』

寄託者: 早稲田大学現代日本社会システム研究所



(写真: 二次分析研究会HPより)

○松岡 亮二(早稲田大学)

"Inequality in Shadow Education Participation in an Egalitarian Compulsory Education System"(Comparative Education Review Vol.62 No.4, 2018)

利用データ:『親と子の生活意識に関する調査, 2011』

寄託者:内閣府子ども若者・子育て施策総合推進室

詳細はこちらをご覧ください。 <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/ssjda/prize-access/2018/>

04> 2018年度 二次分析研究会 成果報告会が開催されました。

2019-02-20 ■参加者公募型研究

「勤労者の仕事と暮らしに関する二次分析:データからみた2007年~2017年」

■課題公募型研究

2019-03-05 「戦後福祉国家成立期の福祉・教育・生活をめぐる調査データの二次分析」

2019-03-27 「高校生の進路意識と、その後のフォローアップ調査の基礎的分析」

「質的データの二次分析による東日本大震災2年目にみる仮設住宅の生活実態の解明」

2019-03-28 「家族形成と働き方の相互関係に関する研究—ワーク・ライフ・バランス実現の観点から—」

「進路選択の決定要因分析—高校生の追跡データを用いた定量的分析—」

詳細はこちらをご覧ください。 <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/secondary/briefing/2018/>



(写真:二次分析研究会HPより)



05> 東大社研パネルシンポジウム2019が開催されました。

2019-02-22 プログラム:

【第一部】 研究報告

石田 浩(社会科学研究所)「格差の連鎖・蓄積とライフコースに関する総合的研究を目指して」

侯野 美咲(武蔵大学大学院)「パネルデータからみる若者の自立と親子関係」

小山田 建太(筑波大学大学院)「若者の多様なキャリアを承認する「自立」親—親子のインタビューデータに着目して—」

柳下 実(首都大学東京大学院)「結婚・子どもを持つことが男女の家の外・中で過ごす時間に与える影響」

田中 茜(東京大学大学院)「働き方の希望と実態—ライフイベントに着目して」

【第二部】 シンポジウム「東大社研とパネル調査」

コーディネーター: 三輪 哲(社会科学研究所)

登壇者: 石田 浩、佐藤 香(社会科学研究所)、藤原 翔(社会科学研究所)、

石田 賢示(社会科学研究所)、橋本 尚美(ベネッセ教育総合研究所)

詳細はこちらをご覧ください。 <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/panel/sympo/2019/>

06> 2018年度 計量分析セミナー・春が開催されました。

<プログラム>

- 2019-02-28 「二次分析入門！」
- 2019-03-01～02 「二次分析道場！」
- 2019-03-03 「今さら聞けない統計分析の盲点」
- 2019-03-04 「Stataによるパネルデータ分析入門」

詳細は下記プログラムをご覧ください。

<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/pdf/statsemiflyer2018spring.pdf>

* なお、次回の開催は2019年夏を予定しております。

東京大学 社会科学研究所 国際社会観測・データアーカイブ研究センター 主催

2018年度
計量分析セミナー・春

開催期間 ▶ 2019年2月28日(木)～3月4日(月)
10:30～17:00

会場 ▶ 東京大学本郷キャンパス
宗門総合研究棟5階 センター会議室

プログラム

2月28日(木)	二次分析入門! 講師 三輪 哲 / 苦米地 なつ帆/王 帥 (東京大学) (大阪経済大学) (東京大学)
3月1日(金) ～3月2日(土)	二次分析道場! 講師 石田 浩 / 三輪 哲 (東京大学) (東京大学)
3月3日(日)	今さら聞けない統計分析の盲点 講師 佐々木 弾 (東京大学)
3月4日(月)	Stataによるパネルデータ分析入門 講師 水落 正明 (南山大学)

申込締切 2月8日(金)
ただし東京各府県別に応じ異なる。詳細
詳細は下記URLからご覧下さい
<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/seminar/quant/2018spring/>
計量分析セミナー事務局
statsem@csrda.u-tokyo.ac.jp



(写真: 二次分析研究会HPより)



07> 第1回SSJDAセミナーが開催されました。

2019-03-20 "Do Immigrants Crowd Out Natives From Their Residential Neighborhoods?: Evidence from Seoul, Korea."

11:00～11:30 報告, 11:30～ ディスカッション

講師: **Hyunjoo Yang**(School of Northeast Asian Studies
Incheon National University)

詳細は下記をご覧ください。

<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/international/public-lectures/>



(写真: SSJDAセミナーHPより)

08> SSJDAデータ公開情報

2019-01-25

1203「第2回都市生活と家族に関する意識調査, 2014」(石黒格)
PM090「東大社研・壮年パネル調査(JLPS-M)Wave 1-9, 2007-2015」
(東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト)

PY090「東大社研・若年パネル調査(JLPS-Y)Wave 1-9, 2007-2015」
(東京大学社会科学研究所パネル調査プロジェクト)

1192「女性の化粧行動・意識に関する実態調査, 2011」(ポーラ文化研究所)

2019-02-01

- 1195「女性の化粧行動・意識に関する実態調査, 2014」(ポーラ文化研究所)
 1196「女性の化粧行動・意識に関する実態調査, 2015」(ポーラ文化研究所)
 1226「仕事と育児の両立に関する実態把握のための調査, 2017」
 (厚生労働省 雇用環境・均等局 職業生活両立課)

2019-02-15

- 1213「第9回結婚・出産に関する調査, 2016」(明治安田生活福祉研究所)
 1229「食育に関する意識調査, 2017」(農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課)
 1230「平成29年度食育活動の全国展開委託事業により実施した全国の子供食堂を対象としたアンケート調査, 2017」(農林水産省 消費・安全局 消費者行政・食育課)

2019-03-05

- 1231「外国人雇用対策に関する実態調査事業, 2017」
 (厚生労働省職業安定局派遣・有期労働対策部外国人雇用対策課)

2019-03-29

- 1236「Macromill Weekly Index, 2017.10-12」(マクロミル)
 1237「Macromill Weekly Index, 2018.1-3」(マクロミル)
 1238「Macromill Weekly Index, 2018.4-6」(マクロミル)
 1239「Macromill Weekly Index, 2018.7-9」(マクロミル)

2019-04-22

- 1255「全国海洋リテラシー調査, 2014」(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター)

2019-04-25

- 1133「インターネットによる未婚男女の結婚と仕事に関する意識調査, 2015」
 (内閣府経済社会総合研究所)

社会調査・データアーカイブ研究センター: <https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/>

社会調査・データアーカイブ研究センターパンフレット:
<https://csrda.iss.u-tokyo.ac.jp/pdf/Brochure.pdf>

◆ 社研インタビュー

01> 第31回 社研卒業生の現在(いま)

原口 佳誠 さん 関東学院大学法学部(准教授)

社研在籍期間 2005年4月～2009年3月

研究補助員(2005年4月～2006年3月)

研究支援推進員・学術支援専門職員(2006年4月～2009年3月)



— 法に対する社会科学的研究関心の芽生えは、社研の自由闊達な学際的気風がきっかけであったように感じています。(続きは本文をご覧ください！)

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/ob/haraguchi_2019_04.html

02> 第34回 新刊著者訪問

『雇用は契約—雰囲気に負けない働き方』（筑摩書房 2018年3月）

玄田 有史（専門：計量経済学・労働経済学）

—— 正社員、非正社員の区別は話題になることがあっても、雇用が契約であるということについては、あまり関心が持たれてこなかったのではないかと考えたことがありました。（続きは本文をご覧ください！）

https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/interview/publishment/genda_2019_03.html



◆ 人事情報

(教員)退職・転出 2019.3.31付け

異動内容	氏名	職名	所属等	転出先
定年退職	大沢 真理	教授	比較現代社会部門	
退職	中川 淳司	教授	比較現代法部門	中央学院大学教養学部教授
任期満了	大堀 研	助教	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	青山学院大学コミュニティ人間科学部 准教授

(教員)採用・転入 2019.4.1付け

異動内容	氏名	職名	所属等	前所属等
採用	加藤 孝明	特任教授	地域安全・持続社会システム 社会連携研究部門	生産技術研究所 准教授
採用	石原 章史	准教授	比較現代経済部門	政策研究大学院大学 准教授
採用	WEESE Eric Gordon	准教授	比較現代経済部門	神戸大学 准教授
採用	BABB James David	准教授	国際日本社会部門Ⅱ	ニューカッスル大学 上級准教授

教授(委嘱)・国内客員 2019.4.1付け

委嘱内容	氏名	職名	委嘱部門	御所属等
(称号付与)	竹内 直人	客員教授	比較現代政治部門 比較公共政策分野	京都橋大学現代ビジネス学部教授
(称号付与)	小林 江里香	客員教授	比較現代社会部門 比較社会経済システム	東京都健康長寿医療センター 研究副部長

(教員)所内異動 2019.4.1付け				
異動内容	氏名	職名	所属等	
昇任	藤谷 武史	教授	比較現代法部門	准教授から
昇任	保城 広至	教授	比較現代政治部門	准教授から
昇任	飯田 高	教授	比較現代法部門	准教授から
昇任	MCELWAIN, Kenneth Mori	教授	比較現代政治部門	准教授から
配置換	SHAW, Meredith Rose	准教授	国際日本社会部門 I	国際日本社会部門 准教授から
配置換	大久保 将貴	助教	附属社会調査・ データアーカイブ研究センター	比較現代政治部門比較公共政策分野 助教から

(事務部)退職・転出 2019.3.31付け			
異動内容	氏名	職名	転出先
配置換	瀧田 麻由	総務チーム主任	史料編纂所財務・研究支援チーム
配置換	石川 真樹	図書チーム主任	医学部・医学系研究科図書受入係
配置換	小林 宏菜	図書チーム一般職員	情報システム部情報基盤課学術情報チーム

(事務部)採用・転入 2019.4.1付け			
異動内容	氏名	職名	前所属等
転入	朝倉 良夫	総務チーム主任 (研究協力担当)	史料編纂所財務・研究支援チーム
転入	小松 陽一	図書チーム係長 (資料雑誌担当)	情報システム部情報基盤課学術情報チーム係長
転入	大西 由佳子	図書チーム主任 (資料雑誌担当)	医学部・医学系研究科図書整理係

(短時間有期雇用職員)退職 2019.3.31付け				
異動内容	氏名	職名	所属等	転出先
任期満了	板山 真弓	特任研究員	東大・パークレー戦略的 パートナーシップ	大学院総合文化研究科助教
任期満了	太田 昌志	特任研究員	附属社会調査・ データアーカイブ研究センター	
任期満了	逸見 千種	学術支援専門 職員	大沢研究室	
任期満了	元濱 菜穂子	学術支援専門 職員	共同利用拠点室	
退職	中島 勝利	特任専門員	システム管理室	

(短時間有期雇用職員)採用 2019.4.1付け

異動内容	氏名	職名	所属等
採用	百瀬 由璃絵	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター
採用	木村 裕貴	学術支援専門職員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター
採用	濱崎 瑞樹	学術支援専門職員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター
採用	北林 有里	学術支援職員	中林研究室
採用	角井 佑	特任専門職員	システム管理室

(短時間有期雇用職員)その他 2019.4.1付け

異動内容	氏名	職名	所属等	前職名等
所内異動	山口 泰史	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	学術支援専門職員
所内異動	胡中 孟徳	特任研究員	附属社会調査・データアーカイブ研究センター	学術支援専門職員

【訃報】 本研究所図書チーム主任 清水律子さんが、2019年3月17日に逝去されました。ここに謹んで哀悼の意を表します。

◆ 社会科学研究所/リンク集

- 01> 各種最新情報: <https://issnews.iss.u-tokyo.ac.jp/>
- 02> 研究会・セミナー案内: <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/research/monthly/index.html>
- 03> 人材公募情報: <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/recruitment/index.html>
- 04> 刊行物一覧: <https://jww.iss.u-tokyo.ac.jp/publishments/index.html>

(2019年6月20日改訂)